丘友會報

発行　亀山市本町　亀山高校　丘友会　内会乗覚子
編集　臼井俊　渡辺約　小坂約
印刷　㈲一誠堂印刷所

校舎の改築進む

目標の達成を

会長　藤永昌彦

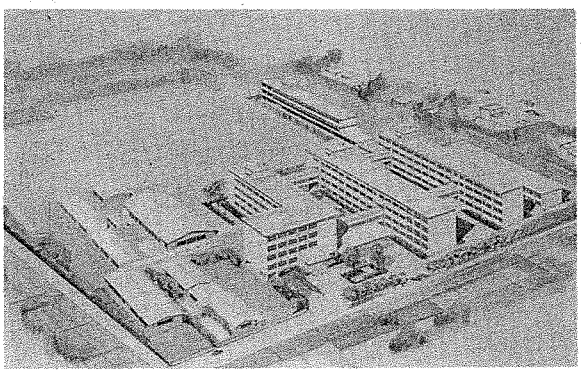
丘友会の皆様、平素はご無沙汰しており誠に申訳ございません。

一昨年八月の総会において、名誉ある、しかも責任重大な丘友会の会長に推せんされ、早くも一年近くになります。この間微力のため、何一つ援の役にたてなかったことを深くおわびいたしますと共に、皆様のご支援によりまして先ずは大過なく来れましたことを厚くお申します。

今年も三月には約五百名の若々しい新会員を迎えまして、会員の総数はすでに二、〇〇〇人を突破、名実共に立派な同窓会になってまいりました。

皆様が心待ちしておられます総会も迫って来ました。昨年は恩師堀田先生をお迎えし久し振りに先生のお顔を拝見しますと、沢山の会員の方々が参加されまして非常に盛大な総会を開くことができました。

毎年、夏の一番暑い時で誠恐縮ですが、今年も去年に倍するご参加をお願いします。



校舎完成予想図

近況の報告

学校長　本城治

丘友会の皆様のご健康を心からお祈りしますとともに、いつもながらのご援助を感謝いたします。本校現在生徒数各学年一四六一名（男子四一七名、女子一〇四四名）、定時制七二名（男子三二名、女子三七名）、常勤の教職員八八人名という大規模のマンモス校となっています。生徒は授業の面でも、またクラブ活動などにおいても、学校生活を楽しんでいますが、今一段の躍動さみと根性とが不足しているように思うのです。進学、就職のことも、それぞれ自分の適性能力にかなった方面に進路を定め、ある程度の実績をあげていることは、喜ばしいことと思います。四十八年の全国総体をひかえ、総体推進のための強化指定校として、男子ではバドミントンソフトリレーティング、女子では、剣道、ソフトボール、バレーボール、体操、山岳の各部が選ばれ部員はもとより、他のクラブも全力をあげ、毎日汗だくの練習をしています。その成果を期待して頂きたいと思います。

現代の高校生には、人間が社会を営むに必要な、不可欠な社会性――人間が生活を営むに必要な知恵や道徳性など、社会に共通して人間が体得すべきもの――が欠けているのは事実であります。また複雑な社会情勢に影響され、青年期の心理的に動揺しやすいことなど考えると、平素の指導の重大さを身にしみて感じるのです。日々の学習指導や学校生活における鍛錬に、地味ではありますがたゆまない指導を続けたい思いますが、どうか、お気づきのことがありましたら、遠慮なくお教えください。

さて本校会員の校舎建築も、校舎建築推進委員の方々、その他関係の方の特別のご支援により、本年四月頃着工教室が四月に完成し八月頃から継続事業として普通教室十教室、給食室、生徒指導室、進学指導室の建築にかかる予定ですが、来年度からの特別教室などの建築の推進に努力し、懸案の解決に当りたいと思ってます。

丘友会の方も建築資金として多額のご寄付を頂いている由承っています。ご寄付願った方々や、色々とお世話してくださっている方々に、心からの御礼を申し述べたいと思います。今後とも亀山高の内容充実に励めたいと思いますので同窓先輩諸氏の、物心両面よりのご後援ご鞭撻をお願い致します。

改築工事の概要

―第一期工事四月完成―

母校教頭　菊田栄一

平素は母校教育向上のために格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。昨年度の丘友会会報で校舎の改築計画を述べさせていただきましたが、工期の変更などもありましたので、その後の経過を含めて、今一度概略をご説明させていただきたいと思います。

ご存知のように、本校は体育館格技室が新館一棟を除き、他のほとんどの建築物は、鈴鹿高女時代並びに終戦直後に建築された木造校舎で、狭隘であり、かつ、大半が危険校舎の指定を受けております。

理科、商業、家庭などの特別教室面積が狭い上に教室数が少ないので、約百七十時間分の授業を普通教室で行なわなければならない状態です。また、現代は視聴覚教育の重要性が叫ばれていますがこれも満足に出来る教室は一つもありません。生徒会室、放送室など、生徒の自主的な活動を推進させるべき大切な部屋も雑居を余儀なくされています。

建築計画の概要			
	建築年	計画面積	経費
第一期工事（第三棟右半分）	四十六年度	一、四〇四㎡	第一期工事の分を含めて総額約六億円
第二期工事（第二棟）	四十七年度	三、八三三㎡	
第四期工事（第一棟）	四十八年度	三、七四三㎡	
第五期工事（第四棟）	四十九年度	九〇六㎡	

施設の状況	
普通教室八、管理棟二、給食室一	
特別教室十二、同準備室七、管理室三	
特別教室八、同準備室四、管理室九、その他二	
図書館一、視聴覚室一、同準備室一、礼法室一	

以上、簡単に現況の一部を述べましたが、本校では、かねてから校舎の改築を計画しており、これが一日も早く実現されるよう切望して、地元の県会議員、市町長、議会議長、中学校長、PTA幹部同役員及び丘友会役員の方々に推進委員を依頼して、一昨年の八月同委員会を発足いたしました。それ以来、委員の皆様には十数回にわたって県への陳情をしていただき、遂に昨年八月なかばに、待望の第一期工事（校舎完成予想図第三棟左半分、面積千四百八十五平方㎡、普通教室十二）の着手をみたのであります。そして本年四月末でとうとう完成いたしました。

次に今後の改築計画の概要を述べさせていただきますと左表のようになります。（校舎完成予想図を参照して下さい。手前から第一棟、第二棟、第三棟、第四棟となっております）。

現在では総工費の五分の一が地元負担になっており、PTAにおいては、ここ数年間、このことある為に努力してまいりましたが、物価の上昇を見込んで約一五〇〇万円にものぼる多額の負担金がいりますので、施設充実などを増額して準備を進めております。また、地元市町にも約一五〇〇万円のご援助をお願いしています。

丘友会におかれましても、目標額五〇〇万円達成のために、役員理事の方々には一昨年来しばしば会をもっていただき、また、丘友会員の方々への寄付依頼に、東奔西走していただくなど、種々ご尽力を賜わっております。お陰さまで、会員の方々のご協力を得て現在までに約一六〇万円のご寄付を頂いましたが、しかし、まだ目標額にはほど遠いので、なお一層のご協力を賜わりますようよろしくお願いいたします。

完成した新校舎

総会点描

昭和四十五年度丘友会総会は、八月一日午前九時半より、母校図書館（旧鈴鹿高女講堂）で開催された。

恩師・堀田要治先生をお招きして、多数の会員が出席したばかりでなく、桑原博先生（元鈴鹿高女校長）をはじめ、上田三好先生、茂呂保先生、佐野勤先生の恩師の方々のお顔も見え、母校教職員の出席も多く、会場にはいりきれないほどの盛会であった。

開会、挨拶の後、まず経過報告会計報告があった。つづいて、校舎建築問題について、学校側から説明があり、藤永会長より、校舎建設募金事業を提案、協議ののち万場一致で可決した。すなわち、最低五百万円を目標に、会員に一口（A一、〇〇〇円、B三、〇〇〇円、C五、〇〇〇円）以上の寄金を呼びかけるというものである。次に旧校舎取りこわしに伴なう記念物の保存について提案、原案通り、旧校舎内外の写真を撮影しておくことと、旧玄関の礎石を保存して、新校舎完成時に庭園の一部に置くことが決定された。

議事等終後、約一時間、堀田先生の講演をおきました。先生はまず、教科書検定十年ほど話題を呈しておられたのだったが、教科書裁判判決直後という時期に遭遇したため、判決文の具体化についての問題点を、教科書作製の面から話された。教科書問題については、今の高まっている折から、考えさせられるところが多い意義ある講演であった。

記念撮影をして、午後からは、クラス会をするところもあり、自由に歓談した。夕刻から有志によって、堀田先生をかこむ会がもたれた。

第13回丘友会総会

総会のお知らせ

第十四回丘友会総会を、次の通り開きます。暑い最中ですが、年に一度のことでもあり、夏休み中のことでもありますので、万障おくりあわせの上、ぜひ、出席してくださいますようお願いいたします。

なお、これをもって正式通知とし、各会員宛には案内状をさしあげませんから、ご了承ください。

記

一、日時　八月一日（日）午前九時半
一、場所　亀山高等学校図書館
一、主な協議事項
　1、経過報告
　2、会計報告
　3、入会費値上げの件
　4、募金事業に関する件
　5、名簿発行に関する件
一、主な協議事項
　八ミリ映写会　議師　副会長　鈴木幸子先生
　海外旅行で撮影された珍しい風物などを映写しながら、話をすすめてもらいます。

続々あつまる募金

半年で目標額の1/3達成

鉄筋四階十二教室完成

鈴鹿高女創立以来五十年、亀山高校となって二十数年の歳月を経た母校は、同窓生諸氏の支援のもと、年々発展の道をたどって来たが、しかし近年、校舎の老朽化の兆候が現われ、危険校舎の指定を受けたため、校舎改築の必要が生まれてきた。

母校では同窓会・PTA・亀山市をはじめ各市町村に働きかけて来たが、昨年度より五か年計画で工事に着手、今年三月には第一期工事が完成、四月より三年生全員と定時制全学年が最新施設の校舎で学んでいる。

今年度は続いて第二期工事として十二教室が追加される予定であり、教室数には限りでも有数の鉄筋四階三棟、二階一棟という近代的校舎が完成する予定である。

丘友会では、母校の校舎建設に伴い、去年八月一日の昭和四十五年度総会において五百万円（総工費六億円の一%強）を目標に募金を行なうことを決定、昨年末に趣意書を全会員に発送した。

母校を想う会員の熱意は高く、各地より続々と寄附金が寄せられ半年目にあたる五月三十一日はついに目五十万円を達えた。

この調子が続けば目標額五百万円の達成も夢ではない。今年中にせめて目標額の三分の二にあたる二百五十万円を達成したいものである。

特に鈴鹿高女の同窓生は、理事を中心に積極的な活動をみせた。なかでも鈴鹿五回生はすでに一〇〇%の人が募金を終えた。

病没された故人の遺志として送られてきた寄付、北海道・鹿児島よりはるばると送られて来た寄付数万円送って来た婦人の方、母校を懐かしむ手紙、新校舎を心から喜ぶ手紙をたくさんと、多くの方の心をこめた寄附金に、役員・理事、係一同心から感謝している。

また、旧制四年修了の方々は、これまで丘友会会員名簿に記載されておらず、募金趣意書も お届けできなかったのであるが、すすんで募金に応じてくださったが幾人もある感謝にたえない。（同様の方も丘友会会員として名簿をとじたいので、消息をお待しの方はお知らせください。

なお、特別会員である母校の先生方、事務職員の方からも多額の寄附金をいただいた。ここに、誌上で御礼申し上げたい。

【注】1、この名簿は、昭和四十六年五月三十一日現在でまとめました。六月一日以後の分は、次号会報で発表します。

2、略符号：女＝女子高等学校第一回卒業生、高＝亀山高等学校第一回卒業生を表します。

3、氏名は順不同、敬称略。

4、できるだけ住所を明したつもりですが、何分、大勢のことですので、間違いがあるかもしれません。御容赦ください。

5、卒業回数はできるだけ調べましたが、わからなかったものについては、失礼ながら回不明としました。卒業年次、旧姓などご御知せください。

正会員の部

金 二五二〇〇円　匿名

金 一〇〇〇〇円
第七回卒業生一同

女9 大津つる子
女11 奥平初子、鈴木芳子
女18 大塚千代、井上為夫、松村勝子
高9 野間司、堀田紙、伊藤雅雄
高15 須崎利子
高16 川戸充、堀田廉子
高20 金 九〇〇〇円　匿名

金 六〇〇〇円
高6 桜井国華

金 五〇〇〇円
女1 土肥志ひ子
女9 宮島知恵子
女11 小島なる代、田代田鶯子
旧5 中村鳳鶴
高1 安藤忠
〃4 落合芳子
〃4 宮良ひで子、内田雄英、小坂智子
〃6 林起夫、増村さかえ
〃7 中井均、渡辺覚
〃8 中森太郎
高9 前田百合子
〃12 岡英治
〃13 片山弘正
〃15 伊藤二郎
〃19 小出夏枝、森芳
〃20 川口正根
〃22 中村正義
〃23 黒川利子、仲見ひさ
〃24 田中きよ
〃25 滝川雅子、天野せつ子、
〃27 菊田尚、中根信子
〃4 修 岡森芳子
〃2 外山新弘、福島和
高1 一見章、大野敏雄、藤永正彦
高3 橋川剛、河村雅、坂藤太郎、外坂靖、白井俊爽
〃4 小橋中美子、佐田まき子
〃5 八木太、中沢操、藤善尚
〃6 松浦久寛、菊田昌之
〃7 小林吸、山口博、藏薗照
〃8 高橋英子、石川智子
〃9 中島紀子、田中正三、福
〃9 島俊三、黒川修、田中克秀、中根幸子
〃8 山中雄子

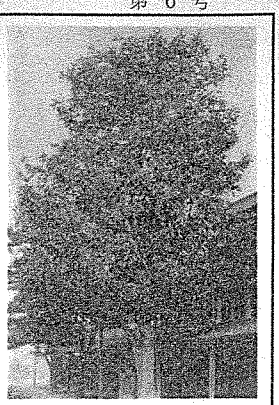
金 二〇〇〇円
女2 飯田尊子、北ぞ々、海野智子
〃3 稲垣喜
〃6 福島にい
〃8 伊藤豊子、今村よね子
〃9 倉田義七子、山田カズ、大槻孝子
〃10 坂野文子、打田俊子
〃11 国井しめ子、高倉ナン江
女10 牧野文子、菊田尚子
〃11 岡本ふみ
〃12 佐藤貞子
〃14 岡田千代、仲沢きく
〃15 菊田尚子
〃18 鈴木ひで子、日藤貞八
〃19 飯島英、堀智子、三宅政
〃21 藤本孝子
〃22 田中うた
〃23 浜地静子
〃24 北条美代子
〃26 外山琉子
〃27 佐美善子、稲垣孝子
高1 米川米、渋谷三重子
高2 村山鳥弘、速水勝子、青
〃4 木食介
〃5 脇田正弘、久居田智子
〃6 安部一郎、中野代、
〃9 内田ちづる
高1 生嶋一子、豊田定夫、麻
〃2 中内隆、今井清
〃4 大平正和、広瀬義昭、田
〃5 中六武、秋月正人
〃11 天野春子
〃12 秋月鶴
〃13 早川昇弘、山本孝子
〃14 新開信義、杉本さきえ、
〃15 田中美
〃15 栗本勝子、西田勝夫、山
〃16 内千鶴子、西田幸子、黒
〃16 川鶴、渡辺孝、秋月隆
〃18 藤井春子、宮村敏子、駒
〃20 田幸子
〃21 国立さき子
〃22 黒川みより、横山新夫
〃22 畑勝夫

金 一、〇〇〇円
女1 熊谷カネ、川口碧枝、
〃2 市川幸子、渡辺和、桜井米
〃4 加藤はる、森千代、加藤
〃5 岩佐秀子
〃6 三十八名全員で三、八〇〇〇円（各一、〇〇〇円）
〃7 大石芳子、西川つな、
〃8 桜木敏子
〃9 喜多さを、山川つる子
〃11 横田あい、林清江、恵で
〃12 川本智恵子、井上松子、
〃14 辻敏子、野田志つ、谷口
〃15 三代子、石田ひで子、鈴
〃16 木信子、藤林ちゑ、打田
〃18 真、中井正子、長田とき
〃19 渡辺照、小原敏雄、原わ
〃20 き、谷口豊蔵、草川鈴子
〃21 打田真、谷口つや、三田
〃22 藏賀代、島原稲、下村し
〃23 づ
〃24 山田勝子、福田あい、金
〃25 丸富美、大川勝子、小林
〃26 いさを、望月まき子、仲
〃27 川とし子、河内芳枝子、森
〃28 西田春子、宇佐美久子、
〃29 坂野文子、菊田あい、村
〃30 田秋、本坂ちゑ、川原
〃31 林きゑ、長田ゆき、坂井
〃32 チ子、小野かつ子、清水
〃33 菊子、倉田てる、鈴木みゑ
〃34 か、倉田まき子
〃35 広瀬ちゑ子、山川志摩子
〃36 棚橋正枝、中根貞、永井
〃37 八重、山崎みさを、石田
〃38 廉子、中森美恵、村山昌
〃39 子
〃40 田田文子、伊藤けい、山
〃41 東ユリ、中根登美子、市
〃42 信子
〃43 岡本美子、川村千鶴、
〃44 高橋廉子、服部キク、波
〃45 多野久子、千鶴廉子、鎌
〃46 谷貞代、茅原静枝、横山
〃47 義代子、岩鶴しず、井崎
〃48 登代子、原隆生、川井平
〃49 代
〃50 大西ゆき子、今井利子、
〃51 桂子、小鍋七子、安藤廉子
〃52 早川さつ、樋口つるえ、
〃53 安藤くらを、
〃54 藏城桂子、鎌美枝子、別
〃55 府ゑね
〃56 泥沢ゆき子、杉浦政子、
〃57 坂俊、豊田みよ子、加藤
〃58 和子、平田津多子、渡辺
〃59 加藤時子、
〃60 米津京、草川つや、佐藤
〃61 飛佐、加藤時子、
〃62 米津京、草川つや、佐藤
〃63 小野坂江子、篠塚志ひ子
〃64 西田良子、小林のぶ、
〃65 三浦三重子、橋本ゑ美
〃66 岡野千代子、林のぶ、
〃67 鶴蔵君子、大辻ちつ
〃68 加島久子、小西みゑ、高

金 一、〇〇〇円
女1 福川勇子、石河
〃2 千代子、渡辺和、桜井米
〃3 幸子、海住正子、坂口
〃4 岩佐秀子
〃5 三十八名全員で三、八〇〇〇円（各一、〇〇〇円）
〃6 大石芳子、西川つな、
〃7 桜木敏子
〃8 喜多さを、山川つる子
〃9 藏城志、浦井正子、
〃10 横田あい、林清江、恵で
〃11 川本智恵子、井上松子、
〃12 三代子、石田ひで子、鈴
〃13 木信子、藤林ちゑ、打田
〃14 真、中井正子、長田とき
〃15 渡辺照、小原敏雄、原わ
〃16 き、谷口豊蔵、草川鈴子
〃17 打田真、谷口つや、三田
〃18 藏賀代、島原稲、下村し
〃19 づ
〃20 堺ちゑ、横田れい、
〃21 フサ子、西川鶴子、久松
〃22 幸子、別所孝子、藤川澄
〃23 子、宮川律子、松田しま
〃24 子、西川文子、芳川とし恵
〃25 宮田ひなゑ、仲野みつ子
〃26 伊藤寿子、後藤正子、
〃27 野口貞
〃28 前田明子、近藤英代子、
〃29 宮田鶴子、鶴岡貞、米
〃30 倉和子、生田鶴代、横澤
〃31 豊田幸子、古市時子、別
〃32 野村ちゑ、高田ちゑ、平田
〃33 雪子、伊藤登美子、平
〃34 田秋、中西鶴子、桐
〃35 生都子、中西鶴子、長岡
〃36 博子、大村美子、山中ヒ
〃37 子
〃38 加藤登子、藤田恵子、安
〃39 藤鈴子、根本美、高橋
〃40 子、川本しづ、藤野多恵
〃41 子、若林玲子、尾崎友子
〃42 西田輝子、鶴長紀子、倉
〃43 田貞子、井崎登子
〃44 津田ひさ子、森子、宮
〃45 崎恵子、松野尊子、山川
〃46 文子、竹林美代子、林あ
〃47 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃48 はつ、市川久子、松尾鈴
〃49 子、岩田百子、熊田たつ
〃50 岩鶴佳子
〃51 早川雅子、杉浦真智子、
〃52 内田雅子、豊田明生、山川
〃53 岡田あいか子、石田知代子、
〃54 滝井尊子、村上逸子、平
〃55 野鶴代、坂本治子、山尾
〃56 なみ子、末広静子、山尾
〃57 かず子、山鶴美子、中村
〃58 孝子、後藤かおる、村田
〃59 なつ子、小林すみ子、黒
〃60 川つな子、伊藤つゑ子、
〃61 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃62 多野由子、森田文子、
〃63 きゑ、打田友子、長谷川
〃64 代子、佐藤孝子、坂
〃65 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃66 さえ、石田豊子、土藤文
〃67 子、社鶴、井手鶴子、久
〃68 保田道子、引野静子、前
〃69 川幸子、山崎琴子、宮崎信
〃70 子、千代子、藤井とし、坂口
〃71 奇子、秋陽やす
〃72 子、久保田智子
〃73 田中英子、川村くに
〃74 渋あゆ子
〃75 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃76 藤祐、西本和子、荒木利
〃77 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃78 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃79 藤良、打田鶴子、市川
〃80 藤敏、稲川華子、下村昌
〃81 子
〃82 片岡徹也、松田厚子、中
〃83 谷淑子、八戸克、中村尚
〃84 梅原宮子、山田敏子、
〃85 佐藤、鶴田敏、
〃86 桜井治子、堀内さを子、
〃87 服部かつ、川村利子、小
〃88 林酒子、服部和代、伊藤
〃89 菱美子、富田ひさ子、小
〃90 林恭子、鶴原久子
〃91 佐伯信子、石原清子、
〃92 本下寛子、豊田寿子、安
〃93 藤いつ子、西川俊一郎、
〃94 富田和恵、亀井正男、小
〃95 野等富子
〃96 西川順子、近藤英知子、
〃97 金丸信英、村田紀子、北
〃98 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃99 藤、田中とき、坂口子
〃100 橋本栄子、平松行子、小
〃101 杉谷ますみ、鈴
〃102 木谷三、柏原春子、永田
〃103 二三代、塙野治子、桜井
〃104 導子、
〃105 益城鈴、桜井正人、園男
〃106 明子、竹島栄子、伊藤君
〃107 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃108 豊田菊子、服部敏子、
〃109 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃110 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃111 田貞子、井崎登子
〃112 津田ひさ子、森子、宮
〃113 崎恵子、松野尊子、山川
〃114 文子、竹林美代子、林あ
〃115 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃116 はつ、市川久子、松尾鈴
〃117 子、岩田百子、熊田たつ
〃118 岩鶴佳子
〃119 早川雅子、杉浦真智子、
〃120 内田雅子、豊田明生、山川
〃121 岡田あいか子、石田知代子、
〃122 滝井尊子、村上逸子、平
〃123 野鶴代、坂本治子、山尾
〃124 なみ子、末広静子、山尾
〃125 かず子、山鶴美子、中村
〃126 孝子、後藤かおる、村田
〃127 なつ子、小林すみ子、黒
〃128 川つな子、伊藤つゑ子、
〃129 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃130 多野由子、森田文子、
〃131 きゑ、打田友子、長谷川
〃132 代子、佐藤孝子、坂
〃133 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃134 さえ、石田豊子、土藤文
〃135 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃136 つ子、渡辺藤貞、米川
〃137 原一、渡辺藤生、多田好
〃138 藤井鶴子、佐藤信子、
〃139 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃140 藤祐、西本和子、荒木利
〃141 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃142 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃143 藤良、打田鶴子、市川
〃144 藤敏、稲川華子、下村昌
〃145 子
〃146 片岡徹也、松田厚子、中
〃147 谷淑子、八戸克、中村尚
〃148 梅原宮子、山田敏子、
〃149 佐藤、鶴田敏、
〃150 桜井治子、堀内さを子、
〃151 服部かつ、川村利子、小
〃152 林酒子、服部和代、伊藤
〃153 菱美子、富田ひさ子、小
〃154 林恭子、鶴原久子
〃155 佐伯信子、石原清子、
〃156 本下寛子、豊田寿子、安
〃157 藤いつ子、西川俊一郎、
〃158 富田和恵、亀井正男、小
〃159 野等富子
〃160 西川順子、近藤英知子、
〃161 金丸信英、村田紀子、北
〃162 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃163 藤、田中とき、坂口子
〃164 橋本栄子、平松行子、小
〃165 杉谷ますみ、鈴
〃166 木谷三、柏原春子、永田
〃167 二三代、塙野治子、桜井
〃168 導子、
〃169 益城鈴、桜井正人、園男
〃170 明子、竹島栄子、伊藤君
〃171 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃172 豊田菊子、服部敏子、
〃173 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃174 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃175 田貞子、井崎登子
〃176 津田ひさ子、森子、宮
〃177 崎恵子、松野尊子、山川
〃178 文子、竹林美代子、林あ
〃179 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃180 はつ、市川久子、松尾鈴
〃181 子、岩田百子、熊田たつ
〃182 岩鶴佳子
〃183 早川雅子、杉浦真智子、
〃184 内田雅子、豊田明生、山川
〃185 岡田あいか子、石田知代子、
〃186 滝井尊子、村上逸子、平
〃187 野鶴代、坂本治子、山尾
〃188 なみ子、末広静子、山尾
〃189 かず子、山鶴美子、中村
〃190 孝子、後藤かおる、村田
〃191 なつ子、小林すみ子、黒
〃192 川つな子、伊藤つゑ子、
〃193 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃194 多野由子、森田文子、
〃195 きゑ、打田友子、長谷川
〃196 代子、佐藤孝子、坂
〃197 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃198 さえ、石田豊子、土藤文
〃199 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃200 つ子、渡辺藤貞、米川
〃201 原一、渡辺藤生、多田好
〃202 藤井鶴子、佐藤信子、
〃203 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃204 藤祐、西本和子、荒木利
〃205 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃206 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃207 藤良、打田鶴子、市川
〃208 藤敏、稲川華子、下村昌
〃209 子
〃210 片岡徹也、松田厚子、中
〃211 谷淑子、八戸克、中村尚
〃212 梅原宮子、山田敏子、
〃213 佐藤、鶴田敏、
〃214 桜井治子、堀内さを子、
〃215 服部かつ、川村利子、小
〃216 林酒子、服部和代、伊藤
〃217 菱美子、富田ひさ子、小
〃218 林恭子、鶴原久子
〃219 佐伯信子、石原清子、
〃220 本下寛子、豊田寿子、安
〃221 藤いつ子、西川俊一郎、
〃222 富田和恵、亀井正男、小
〃223 野等富子
〃224 西川順子、近藤英知子、
〃225 金丸信英、村田紀子、北
〃226 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃227 藤、田中とき、坂口子
〃228 橋本栄子、平松行子、小
〃229 杉谷ますみ、鈴
〃230 木谷三、柏原春子、永田
〃231 二三代、塙野治子、桜井
〃232 導子、
〃233 益城鈴、桜井正人、園男
〃234 明子、竹島栄子、伊藤君
〃235 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃236 豊田菊子、服部敏子、
〃237 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃238 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃239 田貞子、井崎登子
〃240 津田ひさ子、森子、宮
〃241 崎恵子、松野尊子、山川
〃242 文子、竹林美代子、林あ
〃243 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃244 はつ、市川久子、松尾鈴
〃245 子、岩田百子、熊田たつ
〃246 岩鶴佳子
〃247 早川雅子、杉浦真智子、
〃248 内田雅子、豊田明生、山川
〃249 岡田あいか子、石田知代子、
〃250 滝井尊子、村上逸子、平
〃251 野鶴代、坂本治子、山尾
〃252 なみ子、末広静子、山尾
〃253 かず子、山鶴美子、中村
〃254 孝子、後藤かおる、村田
〃255 なつ子、小林すみ子、黒
〃256 川つな子、伊藤つゑ子、
〃257 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃258 多野由子、森田文子、
〃259 きゑ、打田友子、長谷川
〃260 代子、佐藤孝子、坂
〃261 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃262 さえ、石田豊子、土藤文
〃263 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃264 つ子、渡辺藤貞、米川
〃265 原一、渡辺藤生、多田好
〃266 藤井鶴子、佐藤信子、
〃267 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃268 藤祐、西本和子、荒木利
〃269 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃270 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃271 藤良、打田鶴子、市川
〃272 藤敏、稲川華子、下村昌
〃273 子
〃274 片岡徹也、松田厚子、中
〃275 谷淑子、八戸克、中村尚
〃276 梅原宮子、山田敏子、
〃277 佐藤、鶴田敏、
〃278 桜井治子、堀内さを子、
〃279 服部かつ、川村利子、小
〃280 林酒子、服部和代、伊藤
〃281 菱美子、富田ひさ子、小
〃282 林恭子、鶴原久子
〃283 佐伯信子、石原清子、
〃284 本下寛子、豊田寿子、安
〃285 藤いつ子、西川俊一郎、
〃286 富田和恵、亀井正男、小
〃287 野等富子
〃288 西川順子、近藤英知子、
〃289 金丸信英、村田紀子、北
〃290 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃291 藤、田中とき、坂口子
〃292 橋本栄子、平松行子、小
〃293 杉谷ますみ、鈴
〃294 木谷三、柏原春子、永田
〃295 二三代、塙野治子、桜井
〃296 導子、
〃297 益城鈴、桜井正人、園男
〃298 明子、竹島栄子、伊藤君
〃299 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃300 豊田菊子、服部敏子、
〃301 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃302 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃303 田貞子、井崎登子
〃304 津田ひさ子、森子、宮
〃305 崎恵子、松野尊子、山川
〃306 文子、竹林美代子、林あ
〃307 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃308 はつ、市川久子、松尾鈴
〃309 子、岩田百子、熊田たつ
〃310 岩鶴佳子
〃311 早川雅子、杉浦真智子、
〃312 内田雅子、豊田明生、山川
〃313 岡田あいか子、石田知代子、
〃314 滝井尊子、村上逸子、平
〃315 野鶴代、坂本治子、山尾
〃316 なみ子、末広静子、山尾
〃317 かず子、山鶴美子、中村
〃318 孝子、後藤かおる、村田
〃319 なつ子、小林すみ子、黒
〃320 川つな子、伊藤つゑ子、
〃321 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃322 多野由子、森田文子、
〃323 きゑ、打田友子、長谷川
〃324 代子、佐藤孝子、坂
〃325 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃326 さえ、石田豊子、土藤文
〃327 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃328 つ子、渡辺藤貞、米川
〃329 原一、渡辺藤生、多田好
〃330 藤井鶴子、佐藤信子、
〃331 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃332 藤祐、西本和子、荒木利
〃333 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃334 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃335 藤良、打田鶴子、市川
〃336 藤敏、稲川華子、下村昌
〃337 子
〃338 片岡徹也、松田厚子、中
〃339 谷淑子、八戸克、中村尚
〃340 梅原宮子、山田敏子、
〃341 佐藤、鶴田敏、
〃342 桜井治子、堀内さを子、
〃343 服部かつ、川村利子、小
〃344 林酒子、服部和代、伊藤
〃345 菱美子、富田ひさ子、小
〃346 林恭子、鶴原久子
〃347 佐伯信子、石原清子、
〃348 本下寛子、豊田寿子、安
〃349 藤いつ子、西川俊一郎、
〃350 富田和恵、亀井正男、小
〃351 野等富子
〃352 西川順子、近藤英知子、
〃353 金丸信英、村田紀子、北
〃354 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃355 藤、田中とき、坂口子
〃356 橋本栄子、平松行子、小
〃357 杉谷ますみ、鈴
〃358 木谷三、柏原春子、永田
〃359 二三代、塙野治子、桜井
〃360 導子、
〃361 益城鈴、桜井正人、園男
〃362 明子、竹島栄子、伊藤君
〃363 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃364 豊田菊子、服部敏子、
〃365 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃366 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃367 田貞子、井崎登子
〃368 津田ひさ子、森子、宮
〃369 崎恵子、松野尊子、山川
〃370 文子、竹林美代子、林あ
〃371 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃372 はつ、市川久子、松尾鈴
〃373 子、岩田百子、熊田たつ
〃374 岩鶴佳子
〃375 早川雅子、杉浦真智子、
〃376 内田雅子、豊田明生、山川
〃377 岡田あいか子、石田知代子、
〃378 滝井尊子、村上逸子、平
〃379 野鶴代、坂本治子、山尾
〃380 なみ子、末広静子、山尾
〃381 かず子、山鶴美子、中村
〃382 孝子、後藤かおる、村田
〃383 なつ子、小林すみ子、黒
〃384 川つな子、伊藤つゑ子、
〃385 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃386 多野由子、森田文子、
〃387 きゑ、打田友子、長谷川
〃388 代子、佐藤孝子、坂
〃389 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃390 さえ、石田豊子、土藤文
〃391 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃392 つ子、渡辺藤貞、米川
〃393 原一、渡辺藤生、多田好
〃394 藤井鶴子、佐藤信子、
〃395 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃396 藤祐、西本和子、荒木利
〃397 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃398 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃399 藤良、打田鶴子、市川
〃400 藤敏、稲川華子、下村昌
〃401 子
〃402 片岡徹也、松田厚子、中
〃403 谷淑子、八戸克、中村尚
〃404 梅原宮子、山田敏子、
〃405 佐藤、鶴田敏、
〃406 桜井治子、堀内さを子、
〃407 服部かつ、川村利子、小
〃408 林酒子、服部和代、伊藤
〃409 菱美子、富田ひさ子、小
〃410 林恭子、鶴原久子
〃411 佐伯信子、石原清子、
〃412 本下寛子、豊田寿子、安
〃413 藤いつ子、西川俊一郎、
〃414 富田和恵、亀井正男、小
〃415 野等富子
〃416 西川順子、近藤英知子、
〃417 金丸信英、村田紀子、北
〃418 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃419 藤、田中とき、坂口子
〃420 橋本栄子、平松行子、小
〃421 杉谷ますみ、鈴
〃422 木谷三、柏原春子、永田
〃423 二三代、塙野治子、桜井
〃424 導子、
〃425 益城鈴、桜井正人、園男
〃426 明子、竹島栄子、伊藤君
〃427 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃428 豊田菊子、服部敏子、
〃429 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃430 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃431 田貞子、井崎登子
〃432 津田ひさ子、森子、宮
〃433 崎恵子、松野尊子、山川
〃434 文子、竹林美代子、林あ
〃435 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃436 はつ、市川久子、松尾鈴
〃437 子、岩田百子、熊田たつ
〃438 岩鶴佳子
〃439 早川雅子、杉浦真智子、
〃440 内田雅子、豊田明生、山川
〃441 岡田あいか子、石田知代子、
〃442 滝井尊子、村上逸子、平
〃443 野鶴代、坂本治子、山尾
〃444 なみ子、末広静子、山尾
〃445 かず子、山鶴美子、中村
〃446 孝子、後藤かおる、村田
〃447 なつ子、小林すみ子、黒
〃448 川つな子、伊藤つゑ子、
〃449 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃450 多野由子、森田文子、
〃451 きゑ、打田友子、長谷川
〃452 代子、佐藤孝子、坂
〃453 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃454 さえ、石田豊子、土藤文
〃455 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃456 つ子、渡辺藤貞、米川
〃457 原一、渡辺藤生、多田好
〃458 藤井鶴子、佐藤信子、
〃459 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃460 藤祐、西本和子、荒木利
〃461 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃462 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃463 藤良、打田鶴子、市川
〃464 藤敏、稲川華子、下村昌
〃465 子
〃466 片岡徹也、松田厚子、中
〃467 谷淑子、八戸克、中村尚
〃468 梅原宮子、山田敏子、
〃469 佐藤、鶴田敏、
〃470 桜井治子、堀内さを子、
〃471 服部かつ、川村利子、小
〃472 林酒子、服部和代、伊藤
〃473 菱美子、富田ひさ子、小
〃474 林恭子、鶴原久子
〃475 佐伯信子、石原清子、
〃476 本下寛子、豊田寿子、安
〃477 藤いつ子、西川俊一郎、
〃478 富田和恵、亀井正男、小
〃479 野等富子
〃480 西川順子、近藤英知子、
〃481 金丸信英、村田紀子、北
〃482 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃483 藤、田中とき、坂口子
〃484 橋本栄子、平松行子、小
〃485 杉谷ますみ、鈴
〃486 木谷三、柏原春子、永田
〃487 二三代、塙野治子、桜井
〃488 導子、
〃489 益城鈴、桜井正人、園男
〃490 明子、竹島栄子、伊藤君
〃491 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃492 豊田菊子、服部敏子、
〃493 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃494 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃495 田貞子、井崎登子
〃496 津田ひさ子、森子、宮
〃497 崎恵子、松野尊子、山川
〃498 文子、竹林美代子、林あ
〃499 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃500 はつ、市川久子、松尾鈴
〃501 子、岩田百子、熊田たつ
〃502 岩鶴佳子
〃503 早川雅子、杉浦真智子、
〃504 内田雅子、豊田明生、山川
〃505 岡田あいか子、石田知代子、
〃506 滝井尊子、村上逸子、平
〃507 野鶴代、坂本治子、山尾
〃508 なみ子、末広静子、山尾
〃509 かず子、山鶴美子、中村
〃510 孝子、後藤かおる、村田
〃511 なつ子、小林すみ子、黒
〃512 川つな子、伊藤つゑ子、
〃513 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃514 多野由子、森田文子、
〃515 きゑ、打田友子、長谷川
〃516 代子、佐藤孝子、坂
〃517 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃518 さえ、石田豊子、土藤文
〃519 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃520 つ子、渡辺藤貞、米川
〃521 原一、渡辺藤生、多田好
〃522 藤井鶴子、佐藤信子、
〃523 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃524 藤祐、西本和子、荒木利
〃525 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃526 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃527 藤良、打田鶴子、市川
〃528 藤敏、稲川華子、下村昌
〃529 子
〃530 片岡徹也、松田厚子、中
〃531 谷淑子、八戸克、中村尚
〃532 梅原宮子、山田敏子、
〃533 佐藤、鶴田敏、
〃534 桜井治子、堀内さを子、
〃535 服部かつ、川村利子、小
〃536 林酒子、服部和代、伊藤
〃537 菱美子、富田ひさ子、小
〃538 林恭子、鶴原久子
〃539 佐伯信子、石原清子、
〃540 本下寛子、豊田寿子、安
〃541 藤いつ子、西川俊一郎、
〃542 富田和恵、亀井正男、小
〃543 野等富子
〃544 西川順子、近藤英知子、
〃545 金丸信英、村田紀子、北
〃546 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃547 藤、田中とき、坂口子
〃548 橋本栄子、平松行子、小
〃549 杉谷ますみ、鈴
〃550 木谷三、柏原春子、永田
〃551 二三代、塙野治子、桜井
〃552 導子、
〃553 益城鈴、桜井正人、園男
〃554 明子、竹島栄子、伊藤君
〃555 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃556 豊田菊子、服部敏子、
〃557 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃558 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃559 田貞子、井崎登子
〃560 津田ひさ子、森子、宮
〃561 崎恵子、松野尊子、山川
〃562 文子、竹林美代子、林あ
〃563 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃564 はつ、市川久子、松尾鈴
〃565 子、岩田百子、熊田たつ
〃566 岩鶴佳子
〃567 早川雅子、杉浦真智子、
〃568 内田雅子、豊田明生、山川
〃569 岡田あいか子、石田知代子、
〃570 滝井尊子、村上逸子、平
〃571 野鶴代、坂本治子、山尾
〃572 なみ子、末広静子、山尾
〃573 かず子、山鶴美子、中村
〃574 孝子、後藤かおる、村田
〃575 なつ子、小林すみ子、黒
〃576 川つな子、伊藤つゑ子、
〃577 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃578 多野由子、森田文子、
〃579 きゑ、打田友子、長谷川
〃580 代子、佐藤孝子、坂
〃581 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃582 さえ、石田豊子、土藤文
〃583 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃584 つ子、渡辺藤貞、米川
〃585 原一、渡辺藤生、多田好
〃586 藤井鶴子、佐藤信子、
〃587 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃588 藤祐、西本和子、荒木利
〃589 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃590 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃591 藤良、打田鶴子、市川
〃592 藤敏、稲川華子、下村昌
〃593 子
〃594 片岡徹也、松田厚子、中
〃595 谷淑子、八戸克、中村尚
〃596 梅原宮子、山田敏子、
〃597 佐藤、鶴田敏、
〃598 桜井治子、堀内さを子、
〃599 服部かつ、川村利子、小
〃600 林酒子、服部和代、伊藤
〃601 菱美子、富田ひさ子、小
〃602 林恭子、鶴原久子
〃603 佐伯信子、石原清子、
〃604 本下寛子、豊田寿子、安
〃605 藤いつ子、西川俊一郎、
〃606 富田和恵、亀井正男、小
〃607 野等富子
〃608 西川順子、近藤英知子、
〃609 金丸信英、村田紀子、北
〃610 村長次、鶴岡貞、渡辺
〃611 藤、田中とき、坂口子
〃612 橋本栄子、平松行子、小
〃613 杉谷ますみ、鈴
〃614 木谷三、柏原春子、永田
〃615 二三代、塙野治子、桜井
〃616 導子、
〃617 益城鈴、桜井正人、園男
〃618 明子、竹島栄子、伊藤君
〃619 子、竹川弘一、倉田喜一、
〃620 豊田菊子、服部敏子、
〃621 坂谷民、佐々木鶴子、橋
〃622 西田鶴子、若林玲子、尾崎友子
〃623 田貞子、井崎登子
〃624 津田ひさ子、森子、宮
〃625 崎恵子、松野尊子、山川
〃626 文子、竹林美代子、林あ
〃627 や子、鶴辺藤博、塩谷
〃628 はつ、市川久子、松尾鈴
〃629 子、岩田百子、熊田たつ
〃630 岩鶴佳子
〃631 早川雅子、杉浦真智子、
〃632 内田雅子、豊田明生、山川
〃633 岡田あいか子、石田知代子、
〃634 滝井尊子、村上逸子、平
〃635 野鶴代、坂本治子、山尾
〃636 なみ子、末広静子、山尾
〃637 かず子、山鶴美子、中村
〃638 孝子、後藤かおる、村田
〃639 なつ子、小林すみ子、黒
〃640 川つな子、伊藤つゑ子、
〃641 坂ちゑ子、川田喜子、波
〃642 多野由子、森田文子、
〃643 きゑ、打田友子、長谷川
〃644 代子、佐藤孝子、坂
〃645 鶴子、横山鈴代、藤原美
〃646 さえ、石田豊子、土藤文
〃647 野鶴子、松井鶴佳、大森
〃648 つ子、渡辺藤貞、米川
〃649 原一、渡辺藤生、多田好
〃650 藤井鶴子、佐藤信子、
〃651 千葉恵美、佐藤信子、伊
〃652 藤祐、西本和子、荒木利
〃653 佐枝、嶋田雪子、荒木利
〃654 伊藤繁男、岡田敏鶴、遠
〃655 藤良、打田鶴子、市川
〃656 藤敏、稲川華子、下村昌
〃657 子
〃658 片岡徹也、松田厚子、中
〃659 谷淑子、八戸克、中村尚
〃660 梅原宮子、山田敏子、
〃661 佐藤、鶴田敏、
〃662 桜井治子、堀内さを子、
〃663 服部かつ、川村利子、小
〃664 林酒子、服部和代、伊藤
〃665 菱美子、富田ひさ子、小
〃666 林恭子、鶴原久子
〃667 佐伯信子、石原清子、
〃668 本下寛子、豊田寿子、安
〃669 藤いつ子、西川俊一郎、
〃670 富田和恵、亀井正男、小
〃671 野等富子
〃672 西川順子、近藤英知子、
〃673 金丸信英、村田紀子、北
〃674 村

泰山木

鈴鹿高女5回　岡　フジ枝



その日は五月の白い風が肌に心地よく、第二回目を終ろうという時、何やら外に無遠慮な人声がして、何かやっているしい。二、三人の友達と外に出て遊んでいると、玄関から先生方が抱って出て来られ、東隣の二本の木を囲んでがやがやと話しこんでいられる。私共も思わずかけよって眺めていると、上級生が二人で水を運んで来た。尋ねてみると泰山木といって寄付をして頂いたそうである。心なしか半開きの白い花が二つ折からの日きしにしおれている。水は忽ち根元にすいとられてしまった。「この木が枯れたら大変だ学校の生命にかかわるんだからね。」「もっとバケツで持って来なさい。」「君らが毎日よく世話をしてやってね。先生方が口々におっしゃる。

この玄関のついた校舎は輸入の米材で造られている。この木の原産は北米。洋玉蘭、大山木ともいってとても花の香がよく、上級生のお世話の甲斐あって、数日後には朝からあたり一面馥郁たる香を漂わせ、私達を喜ばせてくれる多くの友人は、この花の咲いている間毎日校門から眞既、木の下へそれから教室へと向ったものだった。それからまもなくネーム入りの白い木札がかけられ、やがて堀田校長、福岡先生をお迎えし、講堂、第一棟が新築完成され、県立に編入した。

以来五十年。鈴鹿高女、亀山高校の発展を見守りつつ、今盛大なもつかの米材で造られている。この木の原産は北米。洋玉蘭、大山木ともいってとても花の香がよく、上級生のお世話の甲斐あって、数日後には朝からあたり一面馥郁たる香を漂わせ、私達を喜ばせてくれる多くの友人は、この花の咲いている間毎日校門から眞既、木の下へそれから教室へと向ったものだった。それからまもなくネーム入りの白い木札がかけられ、やがて堀

堀田先生を囲んで

八月一日、同窓会総会が終わったあと、恩師として迎えた堀田要治先生を囲んで懇親会をもった。同窓会としてはじめてのケースではないだろうか。

集まったメンバーは、同窓会長藤水氏をはじめ、現在は三重大助教授佐藤勤先生を含め十数名。実になごやかな会合であった。教科書検定審査員として活躍していられる堀田先生のまわりに集まっては、家永裁判をきっかけに、教科書問題で週刊誌に出られたこと、テレビカメラの前に立っての感想と話題はつきなかった。

もちろん、亀山高校時代の思い出に花が咲いたのは当然である。集まったメンバーのひとりひとりをよく覚えてみえるのには感心した。

「そんなことがあったね。で、今はどうしているのかね。」思情あふれる言葉に胸うたれる思いでいっぱいだった。

亀山での何年かの生活が、先生の頭脳から消え去らないのであろう。みんなで撮った写真を家家庭にまで送り届けてくださったと堀田先生を囲む会に参加して、ほんとうにうれしかったと思う。

何人かの友に会い、生きた生活の学問をこの結果からも、今後とも、とうしたお会のある日を楽しみにしたい。

堀田先生は、今年あたり停年退職だと聞く。どうしてみえるこだろう。末永く御元気で、ますますのご活躍をお祈りする。

（堀田先生を囲む会に参加した一員）

地区別による募金の推進

六月一二六日の理事会で、左記のとおり、募金の地区別分担を決定しました。これにより、丘友会役員、理事、母校在職員などがそれぞれの居住区の募金をすすめますのでご協力をお願いします。

未定の地区、係の人数の少ない地区については、適当な方にお願いして、近日中に決定する予定です。

なお、左記以外の地区は分担を決めませんので、直接学校宛または、各自理事宛、送金してください。

▼東町　薩野智子（女3）石井英子（女6）長田あき（女8）高橋英子（女23）山口博（4）宮西祥雄（11）岡英治（12）

▼東台町　藤千代（女3）竹尾あけみ（女20）野原きき子（女26）

▼本町一丁目　加藤はる（女2）原田愛子（女18）田中英子（女25）田中正三（6）深津俊子（17）

▼本町二丁目　山川吉平（女9）林静子（女19）

▼本町三丁目　土屋志郎（女1）川辺勝子（女11）下村正幸（3）

▼本町四丁目　辻弘子（女7）今村俊子（女14）竹尾洋（13）渋倉町　未定（交渉中）

▼北町　樋谷栄一（20）

▼北山町　菊田啓子（女27）

▼西町　野崎れい（女5）臼井静子（女6）林てる（女7）若葉喜美子（女13）臼井俊乗（3）伊藤安男（5）横瀬郁夫（5）藤下文勝（8）堀田征（9）若葉照生（12）西川浩（14）

▼廣瀬町　石田歌子（女9）中野久雄（19）

▼御幸町　平野きく江（女3）中村琴子（女14）亀井正男（1）

▼東御幸町　未定

▼江ケ崎町　黒田号子（女11）鈴木幸子（女11）下村霞枝（女16）山川茶利子（女19）牛尾琴子（9）

▼中屋敷　未定

▼若山町　未定

▼東丸町　加藤ひろ（女5）三好妙（女8）宮木良介（4）

▼西丸町　鶴島富子（女17）

▼市ケ坂町　天野せつ子（女27）

▼野村町　中林改子（女13）服部慶雲（11）佐野良孝（18）

▼和賀町　井上勝馬（定）

▼北野町　笹山俊子（女21）市川琴子（女24）森信夫（定）久野暁子（2）佐野吉堯（7）

▼住山町　未定（交渉中）

▼亀田町　未定

▼羽若町　鎌繁文（18）

▼椿世町　伊藤峯子（女8）佐藤くに子（女12）

▼阿野田町　中根喜美子（女8）

▼天神町　坂井チ子（女8）畠田サチ子（女22）田中一美（女25）

▼中根信子（女27）

前田尚（2）中根琴子（7）伊藤雅龍（9）福岡佳子（10）

▼椿平尾町　石山賞紀（16）

▼鹿島町　岡よし枝（女5）藤永正喜（2）山崎勝数（16）

▼安知本　田茂　未定（交渉中）

▼宮内町　未定（交渉中）

▼川崎町　未定（〃）

▼能褒野町　内田雄蔵（4）

▼太森町　山田純利（13）

▼長明寺町　未定（交渉中）

▼田村町　未定（〃）

▼栄町　林琴子（女1）前川いつ子（18）川戸琴代（19）

▼井尻町　近藤良子（女25）井崎敬子（女23）

▼和田町　桜井巻子（女18）

▼川合町　未定

▼井田川町　未定（交渉中）

▼辺法寺町　笠井博（16）

▼西尾町　藤尾英子（女4）佐藤ひろみ（20）

▼安坂山町　未定

▼三等町　未定

▼中庄町　未定（交渉中）

▼下庄町　未定（〃）

▼弘法寺町

▼白木町　小川町　明石一夫（22）

▼布気町　小坂勉子（4）

▼井崎寺（13）

▼太岡寺町　未定（交渉中）

▼山下町　笠井信隆（14）

▼木下町　原田典子（14）

▼関町　鶴田たつ（女24）藤島俊三（6）福島琴子（10）

▼関町加太　北條田鶴代（12）岡田郁子（22）

▼関町坂下　山川文泰（16）福島玲子（17）福島敏子（18）

▼芸濃町椋本　小嶋勝枝（22）

▼鈴鹿地区　森本克矢（21）

▼椿地区　未定

▼白井田川地区　未定

▼合川地区　北川一枝（21）

▼国府地区　未定

▼加佐登地区　岸善司（1）内田善弘（10）田中幸幸（21）渡辺覚（7）

正会員　卒業年次別一覧表

		金額	人数	%
女	1	11,000	5	21
〃	2	5,000	4	7
〃	3	6,000	3	6
〃	4	1,000	1	3
〃	5	38,000	38	100
〃	6	5,000	4	6
〃	7	28,000	28	37
〃	8	37,000	26	33
〃	9	36,000	16	20
〃	10	9,000	7	10
〃	11	60,000	24	28
〃	12	18,000	13	17
〃	13	6,000	4	6
〃	14	21,000	14	19
〃	15	6,000	5	9
〃	16	4,000	4	5
〃	17	11,000	7	9
〃	18	26,000	13	15
〃	19	20,000	15	18
〃	20	3,000	3	3
〃	21	30,000	21	23
〃	22	20,000	20	23
〃	23	21,000	16	16
〃	24	19,000	16	15
〃	25	18,000	14	13
〃	26	7,000	6	18
〃	27	84,000	68	39
4	修	5,000	3	
併	中	1,000	1	2

	金額	人数	%
旧 5	19,000	13	9
1	20,000	12	23
2	29,000	22	13
3	40,000	26	11
4	96,000	41	15
5	52,000	19	7
6	58,200	21	7
7	35,000	21	6
8	20,000	14	4
9	73,000	29	9
10	29,000	23	7
11	28,000	21	6
12	27,000	18	5
13	34,000	26	7
14	23,000	14	4
15	35,000	15	4
16	39,000	27	8
17	21,000	17	5
18	31,000	28	5
19	67,000	50	7
20	45,000	27	5
21	43,000	36	6
22	52,000	41	8
23	6,000	3	0.4
定	11,000	9	2
不明	5,000	5	
計	1,494,200	977	

特別会員　127,000円　人数　57

総　計　1,621,200円　人数1,034

〈経過報告〉

45・8・2　総会

45・10　募金趣意書原稿作成

45・11　募金趣意書印刷

45・12　募金趣意書発送

46・2・19　役員会、理事会

46・2・27　新入会員入会式、役員会

46・3・13　理事会

46・5　名簿発行準備としてパンチカードの点検、整備

46・5・15　役員会

46・5・31　第一次寄付者名簿作成

46・6・26　理事会

46・7・15　丘友会報第6号発行

雑感

毎年三月の大学入試の発表の頃になると、新聞の合格発表欄を見て、母校の合格者が目立たないので、いろいろと取り沙汰されています。

会報第三号によると、昭和三十五年度は、進学者八四・六%で、京大二、名大五、三重大八教〉十二、三重大八教〉十三というすばらしい成績があがっています。また、五、六回の卒業者で東大へ合格した人もあったことは、すでにご存知のことです。しかるに、最近は、三重大の教育学部へも難なく合格するような状態のようです。これはいったいどういうわけなのだろうか。一口にいって、それは小学区制から中学区制へ変ったことに起因しているといえます。中学校で優秀な生徒は、とりわけ男生徒は他の高校へ進学していくのです。そのことは高校なだけの問題でなく、すでに中学校の進学の態勢で、私立や国立の中学校へ進む生徒が多くなっていることにも関係しています。

ところで、地元にりっぱな中学校や、高校があるのに、無駄なお金と時間を費やして、他の学校へ流れていくのだろうか。会員の一人として、いつも残念に思っています。他の高校へ行ったら、かならず学力が伸びるとは思えない。地元の高校であれば、通学時間はかからないし、体力の消耗は少ないし、経済的にも余分なものがいらない。

そして個人の能力は十分伸ばしていけるのではないだろうか。すでに高校へ進学する年令に達した子どもをもっていらっしゃる会員も多い。丘友会の会員として、よく考えてみなければならないことのように思われます。（SHE）

寄付のおねがい

先般、会員のみなさんに、趣意書をもって、母校校舎改築のためのご寄付をおねがいいたしましたところ、多数の会員から、理事を通して、あるいは、郵送で、ご協力下さいまして、ありがとうございました。

ご芳名は、会報二面に掲載いたしました。

なお、種々のご都合で、まだの方々は、振替用紙を同封いたしますのでできるだけ早く、ご協力下さいますよう、おねがいいたします。

編集後記

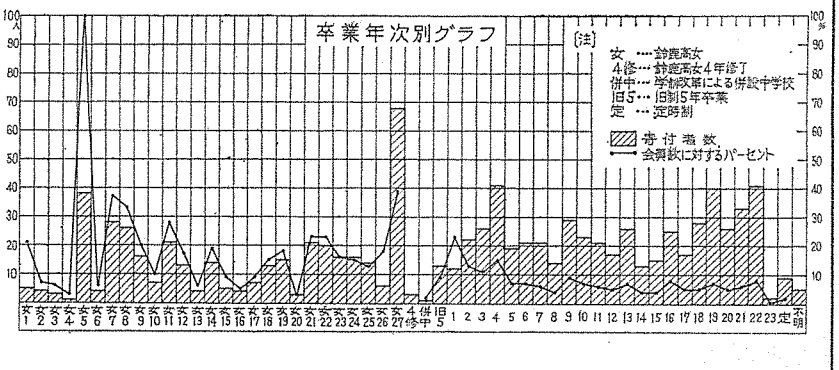
今年の四月に近代的なユニークな新校舎が完成いたしました。そして、この夏休み頃には、旧鈴鹿高女時代の木造の古い校舎は全部とりこわされてしまいます。しみじみと、時代の移り変りを感じます。

会報第六号は、寄付関係の記事が大半をしめて、おもしろいものになってしまいました。

そうはいうものの、これは母校の先生方や、丘友会の役員や理事が、日夜、改築の寄付に対する熱意があらわれであり、その意のあるところをくみとっていただければ幸甚です。母校の校舎がりっぱになるのなら匿名で多額のお金を寄付していただいたかもあります。関係者のひとりとして、こんなうれしいことはありません。

会員名簿の変更など、種々の事情で会報第五号が届かなかった方がありました。深くおわびいたします。

会報をさらに充実し、親しみのあるものにしていきたいと思っています。同窓会や同級会を開いたときには、原稿を事務局までお寄せ下さい。（臼井記）



母校だより

多彩な活動

文化クラブ

文化クラブはその数二十、地味ながら実な日々活動を続けているもの、コンクールへの参加等を通してその校を磨いているもの、それぞれに多彩な活動をくりひろげている。

科学クラブは雨の日も風の日も休まず観測を続けているし、新聞クラブは六月下旬発行をメドに遅日編集に追われている。演劇、合唱をはじめ、美術、書道、茶道、華道等、たゆまない練習の成果を、秋の学園祭に是非見ていただきたいといっている。「鈴鹿」で名を知られる郷土史クラブは、昨年度36号に旧井田川村・阿鹿田管内地区の調査を、37号には関町加太地区の夏季調査報告をまとめた。JRCは赤十字精神を体し、各種施設や養老院の訪問その他の活動を通して、社会を明るくするために小さいながら力をあわせている。PECはクラブ創設以来続けている文通活動を、温厚するマスコミの間をぬっての心の交流として押し進めている。万博以後はとくに海外交通が目立っている。英語クラブは英会話を主としているが、今までの外国文化祭取の態度から日本文化が海外に発表する方向をめざして活動の幅をひろげ、部員一同海外出国を夢見ている。人形劇クラブは和服学園・第一愛護園を訪問したり、学園祭に近くの保育園児を招待してアニメーションや棒人形を楽しんでもらった他、三重大学へも出かけて研修にはげんでいる。吹奏クラブは後及び中部日本の二つの吹奏楽コンクールにおいて優良賞を獲得、その他プラスの祭典や市パレードへの出演参加等の活躍をしている。放送クラブは昨年度NHK全国高校放送コンテスト県予選で録音の部第2位に入賞、本年度優勝をめざしてがんばっている。ところが、校舎新築に伴って放送室の仮移転の必要に迫られ、プレハブ校舎への移転計画はあるのだが、移転費、整理費等に約百万円要することがわかり関係者一同費用の捻出に頭を痛めている最中である。

その他のクラブも例年のような活動を通して、先輩たちの残してくれたものをうけつぎさらに前進しようとがんばっている。「先輩たまにはのぞきに来てください！」

（田野記）

躍進目ざましい運動クラブ

七種目に強化指定

四十五年度会報にて、遂次各クラブの近況を紹介していくことにし、先号にて、剣道、小長、ソフト、野球、ウエイトを紹介しましたが、本年は新しく強化指定クラブの問題についてお知らせしたいと思います。

四十八年に三重県にて全国高校総合体育大会の開催が決定し、五十年に国民体育大会の開催を目指している県スポーツ界の現況からこの開催を契機に、高等学校スポーツ振興の気運をつくるためには先ず、県内選手団の活躍が重要な要素となるという観点から、選手強化の指定校が設定され、本校においても男子二種目、女子五種目の指定をうけました。

指定に当っては基本的条件があり、

一、当該競技において競技水準の高い学校を考慮する。

二、すぐれた指導者の在動する学校を考慮する。

三、地域の特殊性を考慮する。

四、同一校への多種目の集中化をできるだけさけるよう配慮する。

ということになっています。特に四番目の指定があるにもかかわらず、七種目も指定をうけたということは、本校スポーツの躍進を物語るものであり、七種目指定は三重高校の十種目、四日市工業の八種目についで三番目に多くの指定をうけたわけで、先輩達の築いて下さったクラブの伝統を後輩達がしっかりとうけついでいるという何よりの証明になると思います。

指定をうけたクラブは、男子がウエイト、バドミントン、女子がソフト、体操、山岳、剣道、バレーの各クラブです。

指定に当っては、四十六年度は各種目四校を標準としていますが四十七年度は二校にしぼり、精選し、強化の集中化をはかる方針のようです。指定をうけたクラブはむろんのこと、他のクラブも地元での全国大会出場の栄光を目指して、連日体育館、グランドにて若さをぶっつけあっています。

ちまたでいわれている青少年の非行化、師弟間の断絶などと吹く風、実に美しい光景がくり広げられています。本校クラブのこれスポーツのもつ性格の象徴であると断言できると思います。どうか地域社会くるみの温かい御指導、御声援を御願い致します。

最後に昭和四十六年の県予選も全部終了致しましたので成績を報告させていただきます。

昭和四十六年県予選成績

優勝、ソフトボール部

全国、東海大会出場

総合第三位、重量部

個人六階級六名入賞、二名東海大会出場

総合第三位、女子体操部

個人総合七位、東海大会出場

第三位、女子バレー部

東海大会出場

総合第四位、男子体操部

個人総合五位、全国、東海大会出場

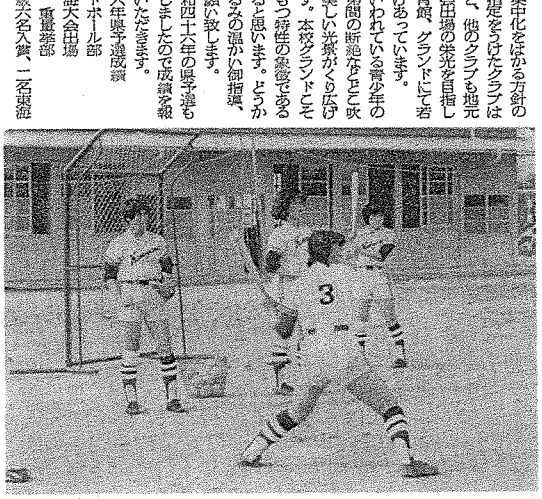
総合第四位、女子陸上競技部

五種目四名入賞、東海大会出場

優秀チーム、女子山岳部

東海大会出場

（田中記）



ソフト部の練習風景

就職指導室

三月末ようやく三年生を社会へおくりおえて、ほっとしたのもつかの間、四月、新三年生の進路指導カードの作成、調査票の提出求人票の整理など、そのあいだ、求人者の訪問応待に多忙な日々のあけくれ、昨年末よりやや景気のかげりが見られたものの、新卒者の就職状況は好調そのもの、担当者として誠に喜ばしいかぎりに思われます。以下に業種別就職状況をご参考までに。

（別表挿入）

なお、地域別にみますと、依然県内就職が圧倒的に多く（90％）残りが主として中京地域を中心とした東海地方ですが、産業施設とともなう子弟数の減少、地元近辺の産業所数増加によるものと思われます。

現在、私たち担当者として最大の悩みは、求人数の増加が著々生徒の職業意識の低下を招いている事実です。安易な職業観、それがまた入社後の転職傾向を助長しているようです。特に女子生徒の確乎とした職業観の確立の指導が急務と思われます。すでに御活躍の先輩諸氏にその点特にご教示と励激の熱い願い申し上げたいものと存じます。

ところで職業の青田刈防止策として、選考時期が昨年より二ケ月おそく、十月より開始されることになり、落着いた学習、慎重な適職選択ができるものと喜んでおります。

こうしている間にも、来年度卒業求人者のノックが聞えてきました。今後とも母校発展のために先輩諸兄姉のご活躍とご援を切望して、結びたいと思います。

（佐藤記）

昭和45年度卒業生就職先業種別一覧　亀山高校46.3末現在

業種＼科別・男女別	普通科 男	普通科 女	商業科 男	商業科 女	家政科 女	合計 男	合計 女	総計
建設		1		1			2	2
食品			1			1		1
綿紡	3	3		1	2	3	6	9
化学	1	3	2	7	7	3	17	20
油脂								0
ゴム	5		1		2	6	2	8
石油		3	1	3		1	6	7
窯業・セメント	1			1	1	1	2	3
鉄鋼	1					1		1
金属・機械	5	6	3	3	2	8	11	19
電気・電線	6	1	1	5	2	7	8	15
車両	5	5	4	10	7	9	22	31
貿易・商事	2	3	4	12	11	6	26	32
小売・百貨店		2		2	15		19	19
金融	1	9	2	7	1	3	17	20
保険・証券				1			1	1
倉庫	2	2		1		2	3	5
運輸	1	4		2	6	1	12	13
通信	9	3	2		3	11	6	17
電力・ガス		1					1	1
公務	6	2	2	6	8	8	16	24
保育					32		32	32
その他	2		2	5	5	4	10	14
総計	50	48	25	67	104	75	219	294

進学状況

＜昭和四五年度＞

四六年五月一日現在での進学状況は左記の通りです。但し（　）内は過年度の卒業生です。

- 国立大学　六（五）　計　一一
- 公立大学　五（一）　計　七
- 私立大学八四（一〇）計一〇四
- 公立短大一一（一）　計　一二
- 私立短大七六（一）　計　七八
- 各種学校　三（一）　計　一三

大体以上の通りですが、この数字は合格者の数ですので、実際に入学した者は、公立大学は一名減、私立大学は三六名減となっています。参考までに昨年度当初の進学状況を見ますと、

- 国立大学　二（八）　計　一〇
- 公立大学　八（一）　計　一〇
- 私立大学一一（六）計一七

で、成績は若干落ちているようですが、現役者の国立大学合格入学者が前年度の3倍の4名も出ていたことは近年にないことで、関係者一同も非常に嬉しく、指導にも張り合いが出て来ました。入学者の大学名と入学者数は次の通りです。

三重大学二（二）、滋賀大学一（一）、大阪教育大学一（〇）、山梨大学一（〇）、福島大学一（〇）、信州大学一（〇）、岩手大学一（〇）

以上国立大学。次に公立大学の分は、都留文科大学二（一）、三重県立大学一（一）、静岡女子大学一（一）、高崎経済大学一（〇）です。なお参考までに四四年度の国立大学進学状況を見ますと、三重大学一（〇）、神戸大学一（一）、奈良教育大学一（〇）、富山大学一（〇）、鳥取大学一（〇）、福島大学一（〇）になっています。

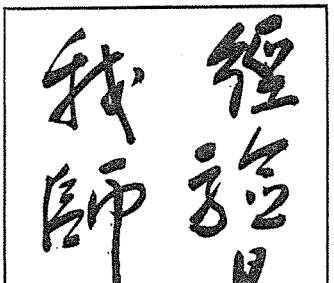
【（　）内は過年度卒業生】

次に本年度進学した主な私大学名と合格者数を挙げますと次の通りです。

愛知学院大（二七）、愛知大学（八）、名古屋学院大（七）、飛谷大学（七）、駒沢大学（四）、岐阜経済大、皇学館大、近畿大が各三。なお学部別では、政治・経済・法学・商学が圧倒的に多いです。その他は、文学部・工学部・教育学部の順になっています。

以上が本年三月に卒業した生徒たちの進学状況です。今後のご参考になれば幸いです。

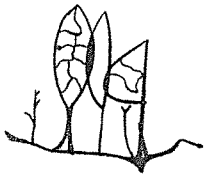
（鈴木記）



横山勇先生の書

〝追想〟

旧職員　生川　茂男



県立鈴鹿高等女学校と県立亀山実業学校が統合されて亀山高等校が発足した。

それぞれの中等学校に学んだ人々も学区制で集った。昭和二十三年五月かくして、この地区の識者が望んでいた、男女の中等教育校が出来上った。

異った学校から寄り集った生徒諸君には最初のうち多少落着かない様子に見受けられたが、そこに若い人々だけに間もなく気持ちも解け合って来た。

教室が足りず、旧職室を区切って使ったり、生徒集会の場所もなく中庭を利用し、職員室も廊下を仕切り、今から思えば想像もつかぬ状態であった。

定時制では、職場で相当の地位にある年輩の人々が実に楽しく学習されたのも忘れられない。

亀山実業に十三年、亀山高校に二十二年在職して退職した今、小坂先生を通じて丘友会から頂いた記念品を前にして、それ等の追憶に耽っている。

それにしても四日市高の私が当地に住まうなど考えてもいなかったが、三十五年も過ごして、当地で初めて接した生徒諸君が五十歳になられたとか、縁とは不思議なものだとつくづく感ぜられる。様様の母校もこと数年で立派な校舎に生れかわる。自分の家は出来なくても、これが完成を見てから郡をうむりたいと思う。

最後に、亀山実業卒業の人々も丘友会に含めて良然な形になることを念願して擱筆する。

職員異動

春の人事異動を中心として、今年一月から七月までの間に、左記の方々が退職、転出、転入された。

退職

生川茂男（商）、横山勇（書）、中原紀子（家）、石川琢応（事務）、樽爪雅代子（事務、実習助手）

転出

西田芳文（数）上野工高へ
分部雅巳（事務）北勢教育事務所へ
麻生　正（事務）四日市農芸高へ

転入

川合幸夫（数）四日市農芸高より
山田純利（商）名張高より
福井慶子（家）宮川高荻原分校より
伊藤春生（事務長）松阪教育事務所より
南　昇（事務）四日市工業高より
伊藤幸子（理）実習助手）津女子高より
奥山達生（体）、榎本誠（書）、大塚きよ子（保育）、山中亜雄（事務）

とのうち、生川先生は母校創立以来二十二年、横山先生は十九年その前の誠明時代とあわせると二十一年間、亀山高校に勤続された両先生のご退職に際して、丘友会より記念品として花瓶を贈呈した。